



# 桐生ロータリークラブ週報

国際ロータリー第2840地区 2020-2021年度 国際ロータリーのテーマ

## 2021年



ロータリーは機会の扉を開く

### ROTARY OPENS OPPORTUNITIES

#### R.I 会長 ホルガー・クナーク

善意というものがないなら

ロータリークラブは唯の社交クラブだ。

職業は金儲けのためでしかなく、

社会奉仕というも施しにすぎず、

国際奉仕は外交以外の何ものでもない。

パストガバナー 前原 勝樹

会長 森 末廣 幹事 後藤圭一

クラブ会報・情報委員会 田中淳・長澤深幸・亀山貴史

### 4月19日号

### 第3162回例会

(4月12日(月)第2例会)

例会場 桐生プリオパレス

- |                   |               |
|-------------------|---------------|
| 1. 点 鐘            | 7. 幹事報告       |
| 2. ロータリーソング斉唱     | 8. 委員会報告      |
| 3. 来訪者紹介          | 9. 卓 話「新会員卓話」 |
| 4. 出席100%表彰       | 坪井 良樹君        |
| 5. ポール・ハリス・フェロー表彰 | 石坂 光紀君        |
| 北川 貴久君            |               |
| 1回 水越 稔幸君         | 10. 点 鐘       |
| 6. 会長の時間          |               |

### ようこそビジター

<米山奨学生> 刘 媛様

### 出席100%表彰

須永 博之君 9回



### 米山奨学生 奨学金授与



### 出産祝

亀山貴史君  
双子の男の子が  
誕生致しました。



後藤 圭一君 4回  
小林雅子さん 1回

### ポール・ハリス・フェロー 表彰

北川 貴久君  
1回 水越 稔幸君



### 会長の時間

会員の皆様、こんにちは

今朝、明るいニュースが入りました。ゴルフの松山秀樹選手が、マスターズで初優勝しました。10回目の挑戦だったそうです。また、先週は水泳の池江璃花子選手が、日本選手権で四冠を達成しました。そして、東京五輪の代表にも内定しました。彼女のインタビューの中で、努力は必ず報われると言った言葉が印象的でした。近頃、暗いニュースばかりだったので、明るいニュースは、いいですね。さて今日は、道路の話をいたします。

道路整備が最も進んでいるのはどこでしょうか？

道路がどれだけ整備されているかの目安の一つに、歩道の設置率があります。

道路は、車道と歩道が区分されているのが安全上好ましいのですが、狭い道路が多い日本では難しい問題です。市街地が発達している地域、市街地の占める比率が高い地域ほど歩道の設置率が高く、大都市を有する都道府県は、歩道の設置率が高い傾向にあります。

ところが、歩道の設置率が最も高いのは東京でも、大阪府でもなく、実は沖縄県が最も高く(30.7%)、第2位は北海道(26%)なのです。東京都や大阪府より、日本の再南端の沖縄県と最北端の北海道が、1位と2位につけているというのはやや意外に感じます。徳島県(6.7%)や長野県(7.7%)などに比べると、沖縄県と北海道の道路がいかに整備されているかがわかるでしょう。ちなみに、群馬県は9.2%で、関東では、一番低い値です。(この資料は、2016年4月のものです。)それにしても、なぜ沖縄県と北海道は他県に比べ、歩道の設置率が著しく高いのでしょうか。沖縄県は日本の敗戦で、長い間アメリカ軍に占領されていました。戦争で壊滅した鉄道は復旧されることなく、陸上交通はもっぱら自動車に依存していました。それが、歩道の設置率を高める要因になったと考えられます。北海道の歩道設置率が高いのも、それなりの理由があります。北海道は明治に入ってから、未開の原野を開発した地ですから、道路部分を広く確保できたのです。特に道都の札幌市は、計画的に建設された都市ということもあって、歩道の設置率は79.1%という驚異的な高さです。歩道は自動車から歩行者の安全を守るために必要な道路施設ですから、真っ先に取り組まなければならない問題でしょう。

では、道路普及率が日本一高いのはどこでしょうか？日本の人口分布に過密と過疎があるように、道路も密度の高い地域と低い地域があります。農山村地域は道路も希薄ですが、人口密度が高い地域では、道路が網の目のように張り巡らされています。道路の総延長が日本一長いのは、全長9万414Kmの道路を有する北海道ですが、面積は日本の総面積の21%もあります。ですから、道路比率は全国の7.1%を占めているにすぎません。北海道の道路密度がいかに低いかかわかるでしょう。

面積1km<sup>2</sup>あたりの道路の長さを普及率とすると、埼玉県が12.43kmで1位、2位は東京都で11.08km。3位は神奈川県10.63km、4位大阪府10.32km、5位愛知県9.76km、というように、都市化が進んでいる地域、及び人口密度の高い地域が道路の普及率も高いことが分かります。ただ、埼玉県が東京都を抑えて全国一というのが意外です。これは、埼玉県が東京のベットタウンとして急速に都市化が進んでいる地域で、住宅地の中に細い道路が縦横無尽に通じているからなのでしょう。

東京都が埼玉県より道路普及率が低いのは、東京には幅員の広い幹線道路が埼玉県に比べて圧倒的に多いこと、道路が未発達な伊豆諸島や小笠原諸島が東京都の管轄ということが影響していると考えられます。

道路普及率が最も低いのは北海道で、1km<sup>2</sup>あたりの道路の長さはわずか1.15kmで、埼玉県の11分の1という低さです。2位は山形県1.80km、3位は高知県で1.99km、4位は青森県2.01km、5位秋田県2.06kmというように、道路普及率が低い県は人口密度も低いのです。道路が日本の経済活動と密接な関係にあることがわかります。

《予定》

- 4/15 家族会役員会 正午 ラポルト
- 4/18 新規米山面接会  
意見交換会・オリエンテーション  
大友米山奨学副委員長  
継続米山奨学生面接 刘 媛様  
ゴルフコンペ 太田双葉カントリークラブ

## 幹事報告

- ・(株)クマヒラ社長 熊平雅人様(東京RC会員)より「抜萃のつづり その八〇」をご寄贈いただきました。
- ・2月23日の奉仕実践セミナーの事例集を配布致しました。桑原君が発表してくれました当クラブは、P17に掲載してあります。
- ・4月25日Web配信でも開催の地区大会プログラムと地区大会記念品(日本ロータリークラブ100周年記念切手)を配布致しました。大会プログラムの裏面にWeb配信が視聴出来るようにQRコードとURLが掲載してありますので、当日Web参加よろしくお願い致します。
- ・桐生市社会福祉協議会より「福祉ぐんま」が届いております。
- ・桐生西、桐生赤城の各RCより週報到着。

## 委員会報告

### 出席委員会

本日の出席(令和3年4月12日)

総員67名:出席38名

### ニコニコボックス

森末廣君…新入会員の方、卓話よろしくお願ひ致します／前原勝君…おかげ様で我家の長男もこの度医師国家試験に合格しこの4月から研修医となりました／須永博之君…おかげ様で会社が成立40年になりました／水越稔幸君…今日は朝からウルウルしました。松山君マスタース優勝おめでとうございます。僕も頑張ります／有志一同…田中一枝さんユネスコ会長ご就任おめでとうございます／北川洋君、牛腸章君…誕生祝／須永博之君、牛腸圭一君、小林雅子さん…出席100%。

## 卓 話



「新会員卓話」

坪井 良樹君

今回初めて卓話をさせていただきました。新会員の坪井良樹です。どうぞ宜しくお願いします。

さて今回は、SDGs についてお話をさせていただきました。新聞やテレビなどで仕切りに SDGs の重要性が話題にあがっております。

私は、これまで SDGs の記事を良く読んではいないし勉強もしていませんでした。しかしながら、SDGs について学ぼうと思ったきっかけは、ボーイスカウトの研修の一環で坐禅会があり法話もして欲しいという依頼をいただきました。しかも仏教に SDGs を絡めたお話をご希望とのこと。はたして何の話をすれば良いのだろうと思ひ。SDGs について調べました。すると、私どもの宗門である曹洞宗の開祖・道元が説く教えの「自然や季節に寄り添いながら禅の道を歩んでいく」点に相通じるものがある事に気づきました。

SDGs(持続可能な開発目標)とは、2015年9月の国連サミットで採択された後に2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。

17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル(普遍的)なものであり、日本としても積極的に取り組んでいるものです。

何億年もの時間をかけて作られた石炭や石油が、人間の営みを行う上で、たったの100年くらいの間に使い尽くされようとしています。

自然を大切に！と昔から良く言われてきましたが、今こそSDGsの取組みを皆さんで共有して、この地球を後世へ受け継いでいきましょう。



「新会員卓話」

石坂 光紀君

群馬銀行桐生支店、石坂光紀でございます。

昨年6月24日付で本店営業部から赴任して9ヶ月が経ちましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で活動が制限され、残念ながら十分に桐生を堪能できない日々が続いております。それでも、お客様や部下行員に助けられ、何とか桐生支店長職を務められています。さて、期が改まり、2日目の4月2日には、当店にも4名の新入行員が初出勤しました。今年、群馬銀行には総合職84名、エリア総合職37名、合計121名が入行し、内4名が当店に配属されたわけですが。

通常なら、入行式終了後から約2週間、新入行員全員が研修所に寝泊まりしての缶詰研修が行われるのですが、コロナ禍ということで、各配属部署でのオンライン研修を受講することになります。新入行員全員での缶詰研修は、同期との絆を作る最初の機会であり、実施できないのは本当に可哀そうなのですが、このような状況下では仕方ありませんね。そういうことで、研修初日の最初の单元、人事部長講話も、各所属店長からの講話に切り替わることとなり、桐生支店配属の4名は、残念ながら、私の講話からスタートとなりました。それにしても今年の新人は特に「若い」というか「子供」に感じます。まあ、それもそうです。彼らの御両親8名のうち、半分の4名は私より年下。私はいろいろありまして、子供がまだ小学生ですが、世間一般的には社会人の子供がいても全く違和感がない訳で・・・と、子供のような新人と向かい合っていたら、普段はあまり感じない時間の流れというか、感慨深さともいいますか、自分の過去にあまり興味が無い私でも、つい入行当時を思い出してしまいました。

私が群馬銀行に入行したのは1991年(平成3年)、何と今年で入行30年になります。この1991年(平成3年)は、どんな年だったかと言うと・・・説明するまでもない、日本現代史の大きな転換点「バブル経済崩壊の年」です。ここで、私の銀行員生活30年を振り返っても仕方ないですし、誰も興味が無いと思いますので、30年前と今の様々な数字、指標を比較してみたいと思います。

因みに「バブル景気」はいつからいつまでなのか、という問いには諸説ありますが、一般的には、1986年(昭和61年)12月から、1991年(平成3年)2月までの4年3ヶ月、51ヶ月間だと言われています。

### 本日の食事



### ✿本日のお花✿



### 家族会役員会

2021年4月15日 ラ・ポルトにて

コロナ禍の中、家族会役員会を開催させて頂きまして恒例の家族会旅行について審議させて頂きました。昨年同様バスでの旅行となりますので、今回も中止と決定させて頂きました。また次年度に開催の際は、皆様のご参加ご協力お願い致します。

